



湯田 哲議員

水力発電で産業の活性化を

町長 ↓ 可能性もあるが側面的支援で

問

ガソリン・電気などの

大幅な値上がりは、電気を使う製造業の経営を圧迫していると予想します。

本町の豊富な水資源による水力発電を行い「電気を自給できる町」で、企業誘致を進めては。

町長

電気料高騰は電力消費

量の多い製造業にとって大きな負担になっていると認識しています。

また、地域特性をいかした方法で電力を補うことは持続可能な社会構築にもつながると考えられます。

しかし、水力発電は初期投資費用が大きいなどの課題も多く、現在のところ考えていません。

問

町内で民間発電会社設立をサポートし、安い

電気代で「電気の地産地消の町」での企業誘致は。

町長

そのような方々からの

要望があれば、情報提供などの支援をさせていただきます。

しかし、町が過度に関与すべきものではないと考えています。

問

旧針生発電所の導水路を利用すれば建設費を抑え発電所ができると考えますが、町の考えは。

町長

構造物が利用できる

とすれば可能性もありますが、町が直接関与するのではなく、町は参入事業者に対し側面的支援を行うというスタンスです。



当時の針生発電所
(昭和44年頃)

その他の質問

- ・ 町内のさまざまな会社の技術・知恵を結集し、新産業を誕生させ雇用の創出を
- ・ 林業活性化の最大のカギ「森林所有者への利益還元」実現への計画は
- ・ 解体を待つ空き校舎の活用を本気で考える時では
- ・ 郷土の「歴史や文化を学ぶ場」として空き店舗を活用し町内活性化を